

学食持ち帰りに エコ容器を導入

叡啓大、学生主体で実証

叡啓大学は、食品容器のシンギ（広島市）が開発する環境に配慮した食品包装技術「シュリンテックエコ」を学内食堂で導入する。学内での学食のテイクアウト需要をはかる実証実験で、学食で提供される丼メニューを

持ち帰りができるように包装する。需要が高ければ本格導入も検討する。

期間は27日まで。学生らが企業と共同で課題解決に取り組むプロジェクトで、シュリンテックエコの普及策を模索していた。プロジェクト終了後も学生らが主体的に活動し、自ら大学と掛け合い今回の実証実験に至った。